**矢吹病院・クリニックの透析患者さん・ご家族の皆様**

**医療法人社団清永会　矢吹病院**

**理事長　矢吹清隆**

**新型コロナウイルス感染予防徹底をお願いいたします。**

* **全国の透析施設で新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生しています。首都圏では透析患者でも入院できず、自宅待機になっています。**
* **透析患者は重症化しやすく、酸素投与や人工呼吸器が必要になります。透析患者は自宅待機では急変のリスクが高いです。**
* **矢吹病院でクラスターが出ると山形県の救急医療の崩壊に直結します。**
* **救急医療が崩壊すると、助かる命も助からなくなります。透析医療だけではありません。交通事故、産科小児科救急などすべてが崩壊するのです。**
* **毎朝、自宅での体温測定、体調の観察は必ず行ってください。体調が悪いときは、透析室まっすぐ来ないで、まず透析室に電話してください。別な場所できちんと診察しますので、安心してください。**
* **他県への移動、他県からの来客との接触は可能な限り避けてください。**
* **マスク、手指消毒、3密を避ける、大声で話をしないなど、これまでの予防対策を継続しましょう。**

**みんなで一丸となってこの難局を乗り切って行きましょう。**